

昭和〇〇年にこの大学院に来てから、中国文化史を

専攻してきましたが、やっと、今年の六月にMAがもらえる

ことになったので、卒業したら直ぐ帰国して、日本でいい

職業につきたいから、日本の有名な大学をはじめ、いろいろな

研究所や新聞社などに履^り歴書を送りました。まだ

仕事は決まりませんが、できれば、地方にある小さくても、

いい大学で教えたいと思っています。

私は、山口県で小学校長をしていた父の長男として

生まれ、中学に入学するまで山口市で育てられました。

私が小学校を卒業した年に、父が文部省の「教育

研究所」に転勤させられたので、家族いっしょに東京に住む

ことになりました。中野高校から都立大学に入学して、

大学では政治学を専攻しましたが、私は社会科学よりも

文学や歴史の方が好きで、日本はもちろん、中国の文学や歴史の本をよく読みました。

大学を卒業してから、英語も習ったかったし、アメリカやヨーロッパの文化も勉強したかったから、「アメリカ文化センター」という所に勤めることになりました。ここではアメリカの新しい

音楽や文学、映画などについて教えられたし、英会話も習わせられました。仕事のために九州から北海道まで

いろいろな地方へ旅行しました。その後、東大の「アジア

経済研究会」に勤めましたが、ここでは中国と日本の経済関係について書かれた英語の本を訳す仕事をさせられました。

ここに勤めている間に、日中関係について考えさせられて、ぜひ、大学院に入って、中国文化を研究したいと思うように

なりました。運よく、「文化センター」の米国人の知人が、アメリカの大学についてくわしく教えてくれて、スポンサーにもなってくれたので、アメリカの東南部にある大学院の東洋研究科で研究することができるようになりました。

初めに行った大学院には、いい図書館が無かったので、次の学期に、今居る大学院に変わりました。ここでは、

歴史研究科で、中国文化史を専攻していますが、やっぱりな先生も多く、設備のいい図書館や研究室があって、非常に気持ちよく研究ができて喜んでいきます。

この夏には帰国しますが、日本に適当な仕事があるかどうか心配しています。